

## 道路整備

### 高規格道路の進捗は

しんちよく

### 関係団体との要望活動を



なかじま いちろう 議員  
中島 一郎

#### 答 松本町長

高規格道路の早期完成と関連事業の推進については、令和5年度当初予算編成方針の重点項目として掲げている。

**問** 平成30年11月17日に片坂バイパスが開通し、4年が経過した。その後、市内にプロジェクトチームを立ち上げ高規格道路延伸に取り組むことになっていった。

窪川佐賀道路（拳ノ川ICから佐賀ICまで6・2km）と、佐賀大方面路（佐賀ICから上川口ICまで7・8km）の進捗状況を問う。

※ICインターチェンジ

**問** 佐賀ICまでの開通を見通して、人の流れを変え観光誘客等を図り、地域産業の発展と活性化を目指す取り組みは。

**答** 今西海洋森林課長 高速道路延伸に伴い、幡多の玄関口となり、観光入込客の増加、物流移動時間の短縮、工場や店



黒潮佐賀インターチェンジの全景（令和5年2月）

舗の誘致、道の駅の施設整備などが求められることから、関係者との協議を進め全体計画の立案に取り組んでいる。

**答** 河村建設課長 町道管理については、地区への委託分と幡東森林組合等へ委託をしている。65路線の草刈業務を年2、3回実施しているが、作業員配置に課題もあり、令和5年度からは直営事業で実施する。町道利用者にできる限り迷惑をかけないよう維持管理に努める。

**問** 町道の維持管理（草刈作業等）は、例年通りの計画実施となっているか。住民が安心して暮らすためにも定期的な作業が必要ではないか。

**答** 今西海洋森林課長 新型コロナ関連の予算枠を含め、県外や地区外での漁業活動を中心とするカツオ19トン船、大型カツオ船は制度上難しい側面があった。

## 水産業振興

### 近海カツオ船等への支援は国の支援策で検討する

**問** 沿岸漁船を対象とした水揚げ手数料の補填や漁船燃油（1リットル当たり30円）の支援が実施されたが、町内のカツオ19トン船や近海カツオ船は地元漁港への水揚げ機会が少ないことから、大半が支援対象外となっている。均衡のとれた支援策を打つべきではないか。

補助予算原資の確保が大前提となり、令和5年度における地方創生臨時交付金の増額があれば、関係者間で情報共有を図り、今後検討を進めていく。

【その他の質問】  
・防災対策について